

平成29年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	慰霊巡拝事業			担当部局庁	社会・援護局			作成責任者		
事業開始年度	昭和51年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	事業課			吉田 和郎		
会計区分	一般会計									
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	厚生労働省設置法第4条第1項104の2 厚生労働省組織令第108条			関係する計画、 通知等	平成29年度慰霊巡拝等派遣費補助金の国庫補助について (平成29年3月30日厚生労働省発社援0330第5号)					
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費					
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)	先の大戦において亡くなられた方すべての遺骨を収容することが事実上困難なことから、国の責務として、政府の行う遺骨収集を補完し、戦没者遺族の慰藉を目的として、旧主要戦域等において政府職員及び戦没者遺族が戦没者を慰霊する。									
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	先の大戦において旧主要戦域となった地域で、政府職員が戦没者遺族とともに戦没者の戦没地点付近や国から建立した海外戦没者慰霊碑を訪れて、現地追悼式などを行い戦没者の慰霊を行う(一部補助事業 補助率1/3)。									
実施方法	直接実施、補助									
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求			
	予算 の 状 況	当初予算	102	105	88	87	96			
		補正予算	-	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-	-			
	計		102	105	88	87	96			
	執行額		106	83	79	-				
	執行率 (%)		104%	79%	90%	-				
当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)		104%	79%	90%	-					
平成29・30年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目		29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由					
	遺骨収集等庁費		54	58	実施地域の増に伴う増					
	遺骨収集等派遣費補助金		25	28						
	遺骨収集等旅費		8	10						
	計		87	96						
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 29 年度
	平成29年度は慰霊巡拝参加者へのアンケートで「満足した」と回答したアンケート結果の割合が85%を超えるようにする		慰霊巡拝参加者のうち「満足した」と回答したアンケート結果の割合	成果実績	%	90	90	91	-	-
				目標値	%	85	85	85	-	85
				達成度	%	100	100	100	-	-
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	慰霊巡拝参加者アンケート									
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 29 年度
	平29年度は慰霊巡拝参加者数を過去3年の平均を下回らないようにする		慰霊巡拝参加者数	成果実績	人	223	345	301	-	-
				目標値	人	-	-	-	-	290
				達成度	%	-	-	-	-	-
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	平成26年度～28年度戦没者慰霊事業実施状況(慰霊巡拝)									
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込
	慰霊巡拝の実施数			活動実績	回	14	13	12	-	-
				当初見込み	回	14	14	12	12	14

単位当たりコスト	算出根拠		単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込
	X:慰霊巡拝の実施に要した経費/Y:慰霊巡拝事業派遣実績	単位当たりコスト	千円	7,571	6,385	6,583	7,250
		計算式	X/Y		106百万円/14回	83百万円/13回	79百万円/12回

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	戦傷病者・戦没者遺族等への援護、戦没者の遺骨の収集等を行うこと(Ⅶ-3)							
	施策	戦没者遺骨収集事業の推進等により、戦没者遺族を慰藉するとともに中国残留邦人等に対する自立支援等を行うこと(Ⅶ-3-2)							
	測定指標	定量的指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標年度 29 年度
		慰霊巡拝参加者のうち、「満足した」と答える者の割合	実績値	%	90	90	91	-	-
			目標値	%	85	85	85	-	85
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係								
	先の大戦で旧主要戦域となった地域で、政府職員が戦没者遺族とともに戦没者の戦没地点付近や国が建立した海外戦没者慰霊碑を訪れて、現地追悼式などを行い戦没者の慰霊を行うことにより、戦没者遺族の慰藉につながる。								
	改革項目	分野:	-	-					
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
		成果実績	-	-	-	-	-	-	
目標値		-	-	-	-	-	-		
(第二階層) KPI	KPI (第二階層)		単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
	成果実績	-	-	-	-	-	-		
	目標値	-	-	-	-	-	-		
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係									
-									

事業所管部局による点検・改善

	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	未だ113万柱もの遺骨が帰還していない状況である中、海外に残されたままの戦没者の慰霊や遺骨が戻らない関係遺族の慰藉として行う本事業はニーズが高い。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	国が実施する遺骨収集事業を補完するものである。また、国の巡拝団が関係者の代表として、巡拝地域の全戦没者を対象とした合同追悼式を実施している。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	海没遺骨や相手国の事情等から遺骨収集ができない地域の戦没者の慰霊や関係遺族を慰藉するものである。未だ113万柱もの遺骨が帰還していない状況であり、優先度は高い。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	△	一般競争入札により、競争性の確保に努めているが、一部について少額及び外国での調達があるため、予算決算及び会計令に基づき随意契約を行っている。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	有	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	補助対象者の範囲を定め適切に実施しており、負担関係は妥当である。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	事業の実績を踏まえ、必要な経費について毎年見直しを行っている。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	事業実施にあたり、必要なものだけに限定されている。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	海外での事業実施であることから、現地事情の把握に努めるとともに、複数業者からの見積りを比較する等経費節減に努めている。	

事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		○	実績は目標を達成している。		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	当初見込み通り実施できている。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	-		
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		○	事業の趣旨・役割は以下の通りである。 ・慰霊巡拝事業・・・国において遺骨収集事業を実施しているが、未だ海外に多く眠る戦没者を国として慰霊するために、政府慰霊巡拝団を旧戦域に派遣し、戦没者の慰霊を行う。 ・慰霊友好親善事業・・・戦没者遺児が旧戦域の人々と戦争犠牲者の遺族という共通の立場から友好親善を図り、慰霊事業に対する相手国の理解を深めることで、広く戦争犠牲者の慰霊追悼を行い、恒久平和を願う。		
	所管府省名	事業番号	事業名			
	厚生労働省	0715	慰霊友好親善事業			
点検・改善結果	点検結果	平成28年度の慰霊巡拝事業は、当初計画どおりに実施できている。なお、平成23年度より、可能な限り競争性のある選定となるよう補助金の交付対象を公募により選定する方式へ改めている。				
	改善の方向性	当初計画どおりに実施できており、引き続き、慰霊巡拝事業に必要な経費について精査し、適切に事業を実施していくこととする。				
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	慰霊巡拝事業について、引き続き必要な予算額を確保しつつ、適正な執行に努めること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	-					
備考						
-						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	462	平成23年度	420・0065	平成24年度	366・0909	
平成25年度	731	平成26年度	729	平成27年度	745	
平成28年度	712					

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

【平成28年度実績額】

厚生労働省 79百万円

国内での支出

【一般競争入札(最低価格)等】

A. 民間企業(16者) 37百万円

慰霊巡拝の実施に伴うチャーター機借上、会場借上等

【補助金等交付】

B. (一財)日本遺族会 23百万円

国の慰霊巡拝に参加する遺族の取りまとめ及び参加遺族への旅費の補助

海外での支出

【随意契約(その他)】

C. 海外手配会社等(14者) 11百万円

海外での慰霊巡拝に使用するバス等の借料及び損料、現地追悼式用品代等

慰霊巡拝に係る事務費 8百万円
慰霊巡拝派遣に係る旅費等

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・用途
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)

A.(株)日本航空			B.(一財)日本遺族会		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
借料及び損料	チャーター機借上	11	旅費	慰霊巡拝に参加する遺族への旅費の補助	23
計		11	計		23
C.PNGジャパン			D.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
借料及び損料	車両等の借上料	5			
計		5	計		0

